

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 30日

滋賀県知事 殿



提出者

住所 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘30
 氏名 住友電工プリントサーキット株式会社
 代表取締役社長 立田 浩
 電話番号 0748-65-3400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友電工プリントサーキット株式会社 水口事業所
事業場の所在地	滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘30番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日 (上記期間の実績から判断し、生産量の変動・設備増強・製造方法変更等のあった場合、都度計画見直しを図る。)

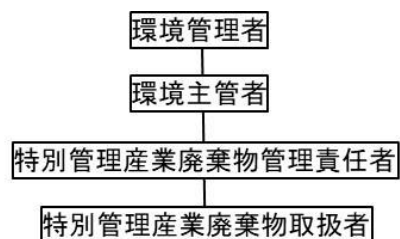
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電子回路基板製造業(28)
②事業の規模	生産量 126千㎡
③従業員数	665人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	2,504t	100 t
	(これまでに実施した取組) ・製品の不良を低減することにより不良分に消費していた酸液を削減		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排出量	3,220t	130 t
	(今後実施する予定の取組) ・製品の不良低減活動等を実施し、廃棄物量削減に結び付ける。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施無し。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施計画無し。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	570t	0 t
(これまでに実施した取組) ・社内処理の実施。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	580t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き社内処理を実施予定。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度(令和 3年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) ・実施無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和 3年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	1,934t	100t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,788t	87t
	再生利用業者への処理委託量	1,876t	100t
	認定熱回収業者への処理委託量	29t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29t	0t
(これまでに実施した取組) ・再生利用可能な業者と契約し、廃棄物処理委託先での再生利用・熱回収の割合を向上			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	2,640t	130t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,500t	85t
	再生利用業者への処理委託量	2,580t	130t
	認定熱回収業者への処理委託量	29t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	60t	0t
(今後実施する予定の取組) ・今後も処理委託先で再生利用又は熱回収を継続していくための情報収集及び対応			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和3年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 <small>(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)</small>		2,604t
	(今後実施する予定の取組等) 紙マニフェストから電子マニフェストへの切替は、2018年度から対応開始。産廃委託業者全社に展開する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者については、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。